

新年にあたって

今年^{今年は}は寅年。ということで、雪谷地区に住む年男、年女の方々に「今年の抱負」取材してみました。



自治会リレー随筆

根方 子安八幡神社の由緒

今年で12才。6年生として、1年生のめんどうをしっかりとみてあげたいです。また、私は計算が苦手なので、今年こそは100点めざしてがんばりたいです。

(希望 米川恵美)

今年は私の年。ここまで育ててくれた、山よりも高く、海よりも深い父母の恩に深く感謝しています。

寅年の女は強いといわれるが、心は優しく思いやりのある、いたって健康な女性です。今年は、大空に高く高くはばたくような幸福の年にしたいと願っています。

(笹丸 E. A)

1度目の寅年より2度目、2度目より3度目と、感慨深さも回数とともに深まるよう感じられる。4度目を一層の充実感を持って迎えられよう、この1年、いやこの12年を精一杯生きようと思う。

(南雪谷 飯田幸一郎)

内面が弱い人より強い人、器用な人より不器用な人、マイナス思考な人よりプラス思考な人、そんな人間が好きです。今年もまた、そんな友をひとりまたひとりと、出会いを楽しみに、より一層実りのある年にしたいと思います。

(上池上 A. K)

平々凡々と年を重ねて60年、自分ではそんな年齢とは思いませんが、身体だけは正直なもので、体力の衰えは如何ともしがたく、根気がなくなったのが身にしみてわかります。

平均寿命が延びている現在、還暦はリフレッシュのための良い機会と考え、楽しい人生をやり直す節目として頑張りたいと思います。

(東雪 高木)

去年は、思いもなかった五十肩に見舞われ、4年続けてきた卓球サークルへの参加を、1年間休む破目に。

今年は1日も早くカムバックし、思っきりスマッシュを打ってみたい。

(石川台 E. M)

今年^{今年は}は寅年。私は84歳。生まれてから何回目の寅年かな。去年は1ヵ月も糖尿病で入院してしまったが、今年は健康に注意して、仕事にもうひと頑張りしてみよう。

(池の台 M)



こども達4人が大きくなり時間的にゆとりができた時、友人とダンスを始めました。この10数年が人生で一番楽しい時期でした。

現在は腰を痛め、歩行が不自由なため、デイクアーに通っていますが、同年齢の方々との交流もまた楽しいし、仲間とリズムに合わせて体を動かすと、若い頃のように、またダンスをやりたいと思います。

(東中 日下雅子)

毎朝、近所を散歩し、週3回は仲池上老人いこいの家で入浴をして、馴染みの人と語らうのが楽しみです。家では、好きな手芸をしたり、洗足池図書館で、文字の大きい本を借りてきて読んだりしております。

こんな調子を続けられる幸せを、ありがたいことと感謝しております。

(小池 森井吉乃)

成人式を迎えて

1月15日は成人式です。大田区では8,469人が大人の仲間入りをします。雪谷地区で成人式を迎える2人の方に感想を聞きました。



20+

いろいろやりたいことがあるが、物事に好奇心をもって接するようにしたい。そこからやる勇気があると。また、熱中できるものを、ひとつでもふたつでもつかみたいと思います。

(小池 S. K)

10代の頃は、10代が永遠に続いていくようなイメージを持っていたのに、いつのまにか20歳になっている。漠然とした不安と期待が混ざった気持ちである。

「閉塞した社会」などといわれる現状を打開していくことが、未来の一端を担う私たちの責務であると感じている。これからは、より深い自覚と責任感を持って、さまざまな物事に対して、しっかりと向き合いたい。

(東雪 松尾 望)

綱引きチーム「雪谷キャニオン」選手募集！

10月10日の区民スポーツまつりに向けて、綱引きの選手を募集中です。年齢18歳以上、男女は問いません。

問合せ先 雪谷特別出張所地域振興係
電話 (3729) 5117

名馬池月洗足池畔に銅像で 戦国ロマンの再来！ 八百年昔の夢実現



名馬池月に佐々木四郎高綱、全磨墨に梶原景季^{すずみ}といえ、知る人ぞ知る今を去る813年昔、寿永3年(1184)春、京都の宇治川で源義経と木曾義仲が対戦した時、各々頼朝より拝領の名馬にまたがり先陣を争った。

平家物語に名高い「宇治川の先陣争い」の一番乗りの栄誉に輝いた名馬池月の銅像が、11月7日に除幕され、その勇姿が洗足池公園に再現された。この池月発生の伝承は数百年昔から千束の地にあり、永く後世にその名を残すこととなった。

ブロンズ像の製作者は、佐々木四郎高綱の末裔、佐々木憲章東海大学講師(高村光太郎大賞展優秀賞3回受賞の新鋭作家)、またその銘碑に「名馬池月之像」の揮毫は、父親である書道界の重鎮、佐々木泰南先生という奇縁で、地元の洗足風致協会(岸田勇会長)が建立した。

除幕式には、西野区長始め近隣の名士多数の他、憲章先生のご友人、囲碁界の元名人大竹英雄氏、林海峰氏、元女流名人本田幸子女史義弟の加藤正夫十段など現囲碁界の最高峰が、錦上花を添えられた。

馬込の名刹萬福寺には、魁に名馬磨墨の像があり、かつての好敵手が馬込区内に轡^{りんかいほう}を並べて建立されたのも奇しき因縁だ。

(洗足風致協会理事 網嶋滋)

俳句

ひとり居の 部屋できき入る 春一番 (池の台 奈良 育子)	初空に 白き機影の 雲の道 (小池 斎藤 あつ子)	とんび舞ふ 苅に月あり 冬桜 (小池 鈴木 美香)	初日の出 寝釈迦のすがた 染めにけり (上池上 一歩)	かるたとり 袴姿に 闘志充つ (東雪 吉武 澄子)	一夜さの 雪に庭木の 性を見し (南雪谷 大和 勉)
--	------------------------------------	------------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------

